



Approach ~越谷市における小中一貫教育の取組~

越谷市では、平成27年度から「夢に向かって輝く子どもの育成」を目指し、市内全小中学校を中学校区の15ブロックに分け、小中一貫教育に取り組んできました。

小中一貫教育は、9年間のつながりを意識した学習指導や生徒指導によって、様々な教育効果を生み出す制度として、現在も全国各地で地域の実情に応じた取組が進められています。

実際に、本市でも5年間に渡る取組を通じて、児童生徒の学力の向上や自己肯定感の高揚、中1ギャップの解消など、多くの成果や児童生徒の変容を見ることができました。

こうした中、本市では小中一貫教育をさらに深化させるべく、小学校と中学校の学区を一致させ、地域とより協働的な教育活動がしやすいとされる、いわゆる「小中一貫校」の設立を目指すこととしました。

令和2年度からの第2期小中一貫教育では、9年間の義務教育期間を通して、学校・家庭・地域が連携・協働した学校教育の実現を目指します。より効果的に達成するための方策として、市内初の小中一貫校を設立し、小中一貫教育の推進に取り組んでいきます。

01 Mission (使命) **夢に向かって輝く子どもの育成**

02 Vision (目指す未来像) 越谷の子どもを9年間で育てる

学力向上 中1ギャップの解消 自己肯定感の高揚

03 Values (考え方や姿) <3つの切り口>

- 授業改善
- 学級・学年経営改善
- 積極的な生徒指導

04 全校一斉小中一貫教育研究指定

05 Tactics (戦術) 市内中学校区の取組

中学校区を目指す児童生徒 重点目標の設定・共有

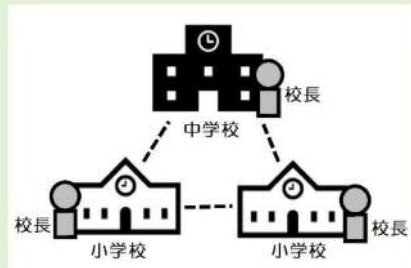
組織づくり 児童生徒交流 教職員交流 家庭・地域連携

生活規律の共有化 学習規律の共有化 学習過程の工夫 板書計画の習慣化 ノート指導の統一化 家庭連携の統一化 学習形態の工夫と共通理解

単元配列表、系統図の活用 「書く」活動の重視 合同教科部会への関与 学習指導要領への対応性の強化 授業研究会への相互参加 学習カードの共有化 合同生徒指導部会、合同教育相談部会への関与

合同あいさつ運動の実施 小学校アスリートへの指導 運動部活動交流(県上大会、フットボール大会) 生徒会役員による中学校生活の説明 部活動体験入学の実施 一貫校訓練、安全教育の共通化 小中連携、協力関係の構築、中継ぎの連携、家庭連携

現在



【小中一貫教育研究校】

- ▶ 校長は各小中学校 1人
- ▶ 小学校 6年間+中学校 3年間
- ▶ 6-3 制による指導の枠組み
- ▶ 9年間で育む児童生徒像を小中学校で共有

準備 ≡ 移行

今後



【小中一貫校】

- ▶ 校長は各小中学校 1人
- ▶ 小学校 6年間+中学校 3年間
- ▶ 4-3-2制による指導の枠組み
- ▶ 統括校長を中心とした教育方針の統一
- ▶ 小学校高学年における一部教科担任制の導入
- ▶ 小中学校の学区が一致
- ▶ コミュニティ・スクールの推進
- ▶ 9年間を通じた教育課程を地域とともに創造

越谷の子どもを9年間で育てる



学校、家庭、地域が連携・協働した学校教育

Concept(案)

* 今後、学校と連携しながら内容をさらに検討します。

SDGs^{※1}と英語で世界とつながる学校 レイクタウンで学習

- 〈目指す児童生徒〉 地域・日本を知り、世界へ発信できる児童生徒の育成
- 〈キャッチフレーズ〉 『레이크タウンで育つ レイクタウンを守る 人にやさしい레이크タウン』
- 〈特色のある教育〉 親水文化創造都市越谷레이크タウンを土台に、SDGsを軸とした環境教育や防災教育、人権教育、国際理解教育を、9年間を通す指導計画のもと実施し、世界に発信する児童生徒を育みます。
- 〈9年間を通す指導〉
 - 1~4年生: 地域の環境・防災・人々をよく知り、地域の人とつながることを重視
 - 5~7年生: レイクタウン地区との交流活動を組み、小中学校の円滑等つながりを重視
 - 8・9年生: レイクタウンの防災対策や環境対策、姉妹都市との交流等社会との関わり、世界とのつながりを重視

【カリキュラム活動例】

8・9年

教科担任制^{※2} 8・9年生の地域参加の教育【人のために考え行動する】
表現や発信を大切にする教育活動 1~4年生との交流活動

- (環境教育) ○『環境問題』『地球温暖化』を防ぐためにできること
- (防災教育) ○地域防災訓練への参加 ○これからの防災を考える
- (人権・福祉教育) ○人権を守ること、よりよい社会にする方策を考える (国際交流協会、障がい者支援団体や福祉団体との連携)
- (国際理解教育) ○姉妹都市キャンベルタウンと英語交流

5~7年

5・6年生の一部教科担任制、7年生からは教科担任制【人の思いを知る】
中学校教員の5・6年授業への一部参加 5・6・7年生児童生徒の交流活動

- (国際理解教育) ○姉妹都市キャンベルタウンとの交流 世界のためにできること探し
- (環境・防災教育) ○英語教育の充実 ALT^{※3}と交流
- (人権・福祉教育) ○自分たちの町레이크タウンの環境対策 地域防災学習と日本の災害学習
- (人権・福祉教育) ○人権問題を考える ○福祉施設との交流

1~4年

学級担任制 地域を素材に基礎基本を学ぶ【人とつながる】
具体的な活動や体験的な活動を中心に実感する学習

- (環境教育) ○調節池見学 自然と触れ合う 地域・越谷の環境問題を知る
- (防災教育) ○『防災を考える』自助・共助・公助 レイクタウンの防災対策
- (国際理解教育) ○姉妹都市キャンベルタウンを知る ○英会話活動 ALTと遊ぼう
- 【土台として】 ○「人との関わり」の深化 地域を知る調査・探検活動 親水のまちづくり ○越谷市を知る 伝統文化体験 越谷の自然 ○SDGsを知る

【用語の説明】

- ※1SDGs……Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。国連サミットで決定した「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための17の国際目標。
- ※2教科担任制……中学校で行われている制度で、教科ごとに教える教員が変わる。小学校ではクラス担任がほぼ全教科を教える。
- ※3ALT……外国語を母語とする国の出身で、小学校や中学校の英語の授業において教員の補助を行う外国語指導助手のこと。